

◎九州総合通信局長表彰

電波の日表彰受賞者（2個人・2団体）

はなだ えいすけ
花田 英輔 様

（国立大学法人佐賀大学工学部知能情報システム学科 教授）

「九州地域の医療機関における電波利用推進協議会」の座長として、適正な電波利用環境の実現に向けた提言や周知啓発のための説明会の実施にあたり先導的な役割を果たすなど、医療機関における安心・安全な電波利用の普及促進に多大な貢献をされました。

まつしま たけし
松島 健 様

（国立大学法人九州大学大学院理学研究院附属地震火山観測研究センター 准教授）

「400MHz帯気象・地象観測用周波数有効利用に関する調査検討会」の座長として、本周波数帯の有効活用のため、LoRa方式等の新しい伝送方式の導入に必要な技術的条件や普及方策のとりまとめを行うなど、電波の有効利用に多大な貢献をされました。

ソニー株式会社 様

（代表：代表執行役 社長兼 CEO 吉田 憲一郎）

一昨年熊本地震及び昨年九州北部豪雨災害において、熊本県及び福岡県内の2市4町2村の被災自治体に対し、被災住民の情報収集手段となる携帯ラジオをいち早く無償で提供するなど、復興に向けて多大な貢献をされました。

パナソニック株式会社 様

（代表：代表取締役社長 津賀 一宏）

一昨年熊本地震及び昨年九州北部豪雨災害において、熊本県及び福岡県内の3市3町の被災自治体に対し、被災住民の情報収集手段となる携帯ラジオをいち早く無償で提供するなど、復興に向けて多大な貢献をされました。

情報通信月間表彰受賞者（2個人・3団体）

あきよし ひろゆき
秋吉 廣行 様

（株式会社Q T n e t 取締役会長）

長年にわたり九州地域の電気通信サービスにおける公正な競争環境や、超高速ブロードバンド基盤の整備に尽力されるなど、九州の高度情報化に多大な貢献をされました。

ふじい よりこ
藤井 資子 様

（公立大学法人熊本県立大学総合管理学部総合管理学科 准教授）

長年にわたり「九州電気通信消費者支援連絡会」の座長として、電気通信事業者と消費生活センターとの連携体制の確立に尽力され、電気通信サービスに関する情報・意見交換を通じて、消費者トラブルの円滑な解決に多大な貢献をされました。

鹿児島県 様

（代表：知事 三反園 訓）

災害に備えた災害関連情報の、迅速かつ効率的な伝達と共有を可能とするLアラートの導入や、「南海トラフ巨大地震等における通信に関する関係者連絡会」を開催するなど、情報通信による防災・減災対策の推進に多大な貢献をされました。

RKB毎日放送株式会社 様

（代表：代表取締役社長 井上 良次）

放送コンテンツの海外展開事業に積極的に取り組み、地域の観光情報や物産情報の発信を通じて、インバウンドの促進や地域産業の海外展開に多大な貢献をされました。

株式会社テレビ熊本 様

（代表：代表取締役社長 河津 延雄）

放送コンテンツの海外展開事業に積極的に取り組み、地域の観光情報や物産情報の発信を通じて、インバウンドの促進や地域産業の海外展開に多大な貢献をされました。

◎九州電波協力会長表彰

表彰受賞者（1個人・1団体）

きりはら みつひろ
桐原 光洋 様

（元熊本市総務局行政管理部 首席審議員兼情報政策課長）

観光及び防災の観点から公衆無線LAN整備の必要性を深く認識し、熊本市における環境整備に積極的に取り組むとともに、一昨年熊本地震での経験と教訓に基づく啓発活動を広く行うなど、自治体における公衆無線LANの整備促進に多大な貢献をされました。

鹿児島県立種子島高等学校 放送部 様

（代表：校長 松山 武史）

昨年、鹿児島県で実施した臨時災害放送局開設訓練において、訓練放送の伝達に尽力されるとともに、東日本大震災被災地での取材を基に動画を制作するなど、災害時における放送の有用性の周知啓発に多大な貢献をされました。